

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	吐水口コックが開放状態のまま、ホースを離脱した事例
3. 体験した事例の中心的要素	65ミリメートルの消防ホースに1MPa程度の圧力をかけて耐圧試験を実施し、ホース確認終了後、排圧の為筒先を開放。ホースを第一放口から離脱しようとしたところ、メス金具が外れず、放口正面に立ち力ずくで外したが、吐水口コックが開放されたまま、機関員が放水を浴びたもの。
4. 体験した事例の原因・理由	吐水口コックの閉め忘れ。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。(誤った手順を取った等)
------------------	---------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成30年11月30日 午後3時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外:訓練場内
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他:転倒、水圧による胸部打撲
7. 事例体験時の活動	その他:ホース耐圧試験
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他:ホース耐圧試験後の撤収作業
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[30]歳、勤続年数[9]年、現場経験年数[9] 年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[29]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[3] 年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [その他:筒先保持]
○当事者C	年齢[40]歳、勤続年数[22]年、現場経験年数[22] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [その他:ホース確認]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	ホースをタンク車第1放口に結合	
経過2	当事者B	ホースに菅そうを結合	
経過3	当事者A	タンク車の積載水を使用し送水開始	
経過4	当事者B	ホース内のエア抜き確認後筒先を閉鎖	
経過5	当事者A	スロットルを操作し送水圧を1MPaまで上げる	
経過6	当事者C	ホースの水漏れ、損傷等を確認	
経過7	当事者A	スロットルをゼロに戻す	
経過8	当事者B	筒先を開放し残圧排除	
経過9		ポンプ駆動は未切断状態	
経過10		吐水口コックは開放状態	
経過11	当事者A	ホースを離脱しようとするが、外れない	
経過12	当事者A	力づくでホースを外し胸部に放水圧を受ける	

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった その他：ポンプ回転が低速であり水圧が低い状態であったため

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

ヒヤリハット事例図

